

JR東海が川崎市(麻生区)で開催

7月24日(水)の「リニア新幹線説明会」

リニアは私たちの生活にどう影響するのか、説明会で疑問や不安を明らかにするため、いまずぐ参加申し込みを！

リニア新幹線計画に関するJR東海からの市民への情報提供は、方法書が出された2011年の秋に広報も不十分で形式的な説明会が行われたのみで、大多数の市民、とりわけ大深度地下40メートルの真下にトンネルを掘ってリニアが通り抜ける中原・高津、宮前、麻生区民にも詳細な説明は一切ありませんでした。

このため私たち沿線住民は、昨年各地で住民集会やシンポジウムを重ね、JR東海に対し説明会の開催を要求して来ました。今年5月には川崎市議会で「説明会開催を要請する」陳情書が趣旨採択され、ようやく説明会を開催することになりました。大勢の市民の方々の参加により問題点を明らかにしていきます。

<リニア新幹線計画とは>

- ◆事業者： JR東海
- ◆開業計画：2014年度 工事計画認可・着工
2027年 東京一名古屋間(286km)開業
2045年 東京一大阪間(438km)開業
- ◆最高設計速度：505km/時
- ◆総事業費：9兆300億円
- ◆到達時間：東京一名古屋間 40分
東京一大阪間 67分
- ◆停車駅：メイン駅は品川、名古屋、大阪
中間駅は各県1ヶ所
- ◆全行程の8割がトンネル。都市部は地下40mより深い大深度トンネル、5～10km毎に直径30mの巨大立坑

住環境や地価下落など市民に不安

川崎市もルートに入っているリニア中央新幹線について、JR東海の県内説明会が七月二十四日午後七時から麻生区の麻生市民館で開かれる。二十五日、市などが明らかにした。住環境の悪化や地価下落などを心配する市民から市に開催を要請するよう陳情も出ていて、この日の市議会一般質問でも取り上げられた。

JR東海 麻生区で

JR側は、二〇一一年の環境影響評価方法書で市内の事業区域を中原、高津、宮前、多摩、麻生の五区にわたる三キロ幅で示したが、トンネル施設内の吸排気を利用する立坑の位置も示していない。陳情は市議会が五月に趣旨採択していた。

田中敬三(まちづくり)局長は、市内開催を強く働きかけた。説明。阿部孝夫(市長)は「市域を通過し、立坑の工事があると市民の生活環境に密接な影響がある。責務として計画の詳細を市民に説明する必要があるJRに、しっかりと説明をすすめるよう要請していく」と語った。

「東新川崎版」
7月26日

から

(山本哲正)

日時 平成25年7月24日(水) 19:00～20:30 開場 18:30

場所 川崎市麻生市民館大ホール 小田急線新百合ヶ丘北口徒歩2分

内容 環境影響評価の調査の進捗状況や、中央新幹線計画について
募集定員 800名(定員を超えた場合は抽選)

申込み方法

- ① 県交通企画課ホームページから電子メールで

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f160210/p664675.html>

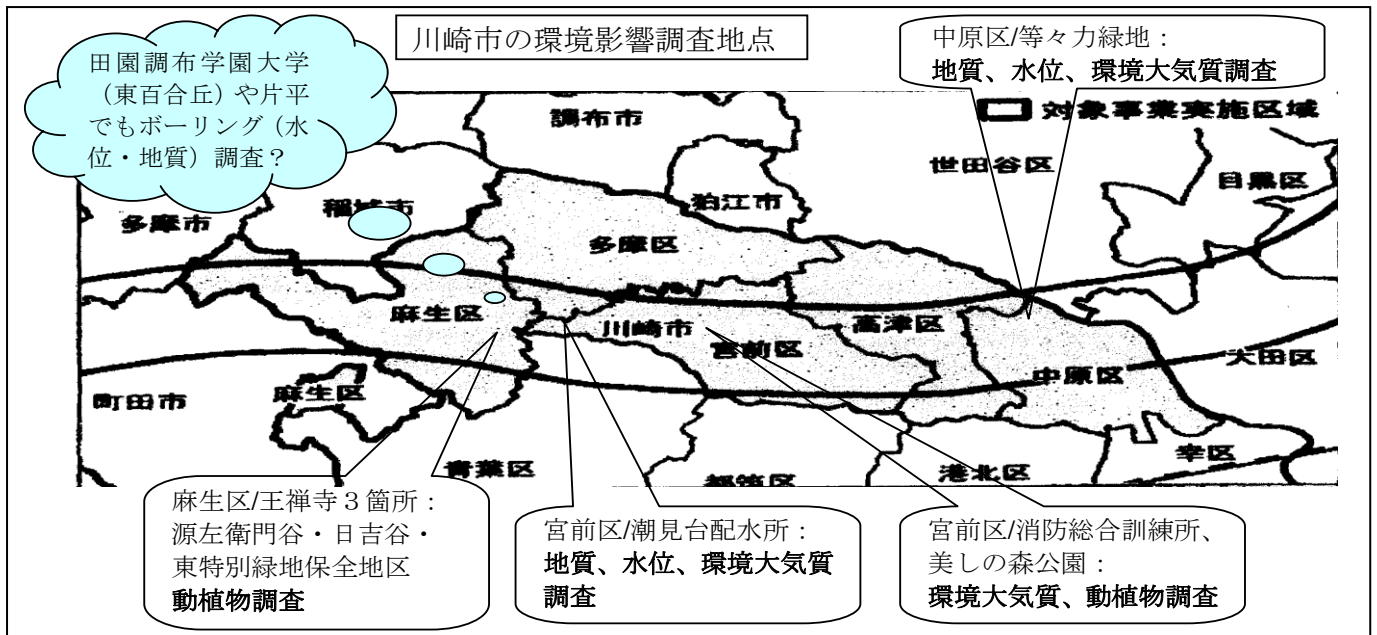
- ② はがき郵送(横浜市中区日本大通1 神奈川交通企画課あて)

行事名「リニア中央新幹線計画に関する説明会」、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のこと

申込み期間 6月26日(水) 8:30～7月16日(火) 17:00(はがきは7月16日必着)

問い合わせ：神奈川県県土整備局都市交通企画課 045-210-6190

川崎市の大深度地下を通るリニアのルートと環境影響評価地点



リニア新幹線計画は問題が山積しています。

リニア新幹線は・・・採算とれない、経済効果も無い、駅整備で地元負担

少子高齢化で人口減、新幹線利用客も頭打ち、リニア利用客だけが增える見通しは甘く、開業後に採算とれず赤字転落の可能性大。建設促進派は中間駅に1時間で5本停まると地元に経済効果大と言うが、停まっても1本。中間駅関連施設、道路など関連整備で地元は巨額の負担を強いられる。

リニア新幹線は・・・電磁波を出す、電気をムダ使い、安全対策も二の次

リニア実験線車内の電磁波レベルは公表されておらず、磁気シールドで車体を覆わなければならないほどの電磁波が発生し、乗客・沿線住民に健康被害の恐れ。

新幹線の3～4倍で原発1基分に相当する膨大な電力を消費し、「原発再稼働」を推進。「万全の安全対策をとる」と説明するが、トンネルの中での緊急時に乗客が安全に避難できる保障は無く、事故対策は後回し。

リニア新幹線は・・・南アルプスの自然を破壊、都市でもトンネル工事の影響大

山梨から長野へ南アルプスに大トンネル。日本最大の自然に対する日本最大の破壊行為。悪法「大深度法」で、都市部の住民は、家の真下を通っても権利ゼロ。さらに5～10kmおきにつくられる巨大な「立坑」工事で大迷惑。全線の8割がトンネルなので膨大な残土が出る。残土の処理はどのようにするのかさえ明らかにされていない

リニア新幹線は・・・活断層が動いたらトンネルは大丈夫?

東京・名古屋間の8割がトンネル。その間、多くの活断層が存在。「地下は地震に強い」は神話。揺れには多少強いかも。でも地層がずれる断層地震の経験は未知。危険なリニアをつくるより、東南海地震の被害が心配な東海道新幹線の総点検と大規模改修が先ではないのか。

2013年6月26日

(連絡先)

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会・中原・高津の会	天野 捷一	044-866-5785
リニア新幹線を考える麻生・多摩の会	矢沢 美也	090-6108-6568
リニア新幹線を考える宮前の会	山本太三雄	090-8775-1879
リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会 URL: http://web-asao.jp/hp/linear		